



医療法人道南勤労者医療協会

道南勤医協函館稜北病院

病院データ



住所	〒041-0853 函館市中道2丁目51番1号
URL	https://ryohoku-h.hakodate.jp/
連絡先(窓口)	医局事務 宝福 0138-54-3113 (代表) ikyo-314@donank.jp
病床数	104床
専門研修指導医数	3人
臨床研修指導医数	4人
外来患者数	73.6人/日 ※令和4年度(2022年度)実績
入院患者数	92.7人/日 ※令和4年度(2022年度)実績
標榜科	内科 呼吸器科 消化器科 循環器科 整形外科 リハビリテーション科
給与(月額)	55万円 賞与年2回・寒冷地手当あり
処遇	常勤職員 保険(社保、厚生、雇用、労災、医師賠償) 借上住宅80,000円まで補助あり。年2回の学会参加が可能。
サブスペシャリティ	家庭医療専門医

函館総合診療研修プログラム

北海道の南部に位置する函館市を中心とした道南地域で総合診療医を養成するプログラムです。地域基幹病院である市立函館病院、共愛会病院や町立松前病院とも連携して道南地区で研修を完了できます。

また、希望者には全道の研修施設と連携したプログラムである北海道勤医協総合医後期研修プログラムとの連携もおこなっており、研修医の相互乗り入れにて技術向上を図っています。

〔連携施設〕

【病院】 函館中央病院／市立函館病院／函館おしま病院／共愛会病院／道立江差病院／松前町立松前病院／奥尻町国民健康保険病院／勤医協中央病院／勤医協札幌病院

【診療所】 はるこどもクリニック／道南勤医協江差診療所

院長から



院長 木田 史朗

当院は104床の小規模病院ですが、異なる医療機能を持つ2つの特色ある病棟を持っています。ひとつは回復期リハビリ病棟、脳血管障害・大腿骨骨折後等の患者に対し、リハビリを行って早期の社会復帰を目指しています。そのために3名のリハビリ専門医と多数のリハビリ技士をそろえ、365日切れ目のないリハビリ提供を行う体制を取っています。もうひとつの病棟は急性期病棟として一般的な疾患の入院治療を行っています。こちらも函館市内の急性期病院と密に連携して患者に適切な医療を提供しています。また、在宅療養支援病院として24時間体制の訪問診療・往診を行っています。

当プログラムに興味をもたれた方は、是非一度見学にお越しください。

総合診療科長から

当院での研修でまず第一に身に付くものは主治医力です。小規模病院のメリットを活かし、外来は慢性疾患の継続外来を担い、在宅では複数の疾患を抱えた高齢者を継続して診ていき、入院が必要であれば自分が主治医となり、精査、治療が終われば退院調整をして、外来や訪問診療でも継続して主治医として関わることができます。一人でなんでもやらなければならないわけではなく、病棟ではほぼ毎日のカンファレンス、外来、訪問診療では指導医との振り返りを重視しており、自分の患者のことを指導医が把握した上で、必要な時にバックアップする体制を敷いています。

他には市内の他法人、多職種などいろいろなコラボをしてこの地域を良くしようと活発に活動しているため、地域ケアに興味のある人にはうってつけの舞台が用意されています。

是非一緒に楽しく活動しましょう。



総合診療科長 川口 篤也



ローテーション例

1 年 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	施設名	函館稜北病院・江差診療所・奥尻町国民健康保険病院											
領域	総診Ⅰ												
2 年 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	施設名	共愛会病院・道立江差病院・松前町立松前病院・ 勤医協中央病院・勤医協札幌病院						市立函館病院 函館中央病院 勤医協札幌病院			市立函館病院 勤医協中央病院		
領域	総診Ⅱ						小児科			救急			
3 年 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	施設名	函館稜北病院・函館中央病院・共愛会病院・道立江差病院・勤医協中央病院・勤医協札幌病院											
領域	内科												

本研修プログラムの研修期間は3年間としますが、研修が不十分な場合は習得できるまでの期間を延長することとなります。

施設所在地の概要

函館稜北病院の特徴

函館稜北病院は Common diseaseの急性期治療を扱う一般病棟56床（急性期病床30床、地域包括ケア病床26床）、管内の急性期から患者を受け入れる回復期リハ病棟48床の病院です。在宅訪問診療も展開しており、管理患者数は200名を超えます。困難な社会経済背景を抱える患者が多く入院しており、それらの患者に対して入院中から退院後の在宅生活を見据えた働きかけが必要となります。訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ、通所リハビリ、訪問入浴など、その患者の要求や背景、地域の資源などを考慮してチームとして対処してまとめていく能力が身につきます。

また、日本在宅医学会と日本リハビリテーション医学会研修施設の認定も受けており、フェロウシッププログラムによって在宅認定専門医およびリハビリ認定臨床医の受験資格が得られます。

交通アクセス

函館駅から車で30分、五稜郭駅から車で20分、函館空港から車で20分の距離にあります。

函館バス 神山通下車 徒歩3分です。

函館市の特徴

日本初の貿易港として開港した函館は様々な外国文化との接触を経験しています。その影響は今でも、街の通りや西部地区の町並みに感じることができます。これらの都市景観と函館山山頂からの夜景、温泉、新鮮で豊富な魚介類は函館に毎年500万人以上の訪問者を引き付ける観光資源となっています。

函館山を基点として街区は扇状に北へ広がり、津軽海峡を挟んだ対岸に青森があります。3つの海に囲まれ対馬暖流の影響を受ける函館は海洋性気候のおかげで、北海道としては降雪量が少なく比較的穏やかな気候です。

（函館市HP「函館市の概要」より）

